

第2回 耐火物工学セミナー(耐火物中級講座)

耐火物熱力学を中心に～鉄冶金熱力学を含めて～

重要なお知らせ(2021年6月1日現在)

- ☆ 可能な感染対策を講じて開催することで準備を進めています。
- ☆ 諸般の事情により中止を決定した場合は、参加費は返金します。
- ☆ 発熱や体調不良の方は、参加をご遠慮ください。
- ☆ 当日は、マスク着用、手などの消毒洗浄、都度の検温実施、換気の徹底など3密防止を図ります。

中堅社員の教育訓練の場として、熱力学を集中的に学んでいただく事を目的に開催します。各機関におかれまして技術レベルの向上を図らせたい方の派遣いただきたくご案内します。

＜主 催＞： 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団

＜共 催＞： 耐火物技術協会中国四国支部、日本セラミックス協会中国四国支部

■ 開催日程： 2021年 8月 3日(火)・4日(水)・5日(木)

■ 会 場： ピアザまきび (岡山市北区下石井2-6-41 TEL 086-232-0511)

■ 講 師： 西日本工業大学 総合システム工学科 機械工学系 教授 瀬々 昌文 先生
ぜ ぜ まさふみ

■ 定 員： 30名 ※ 会場収容人数30名の為、定員に達した時点で締め切ります。

区分	参加費	テキスト代	意見交換会費(8/3)
会 員	28,000円(税込)	7,700円(税込)	5,000円(税込) (食事付)
会員外	39,000円(税込)		
学 生	9,000円(税込)		

※ 当日使用するテキストは、2020年8月刊行の『TAIKABUTSU中級編』となります。

※ 旅費、宿泊費、食事代等は自己負担となります。

※ 申込時に主催・共催団体の会員の有無をお示し下さい。

※ 申込期限：2021年7月16日(金) ※会場収容人数30名の為、定員に達した時点で締め切ります。

※ 参加費は、2021年7月20日(火)までにお振込下さい。(申込書受領後、請求書送付)

※ ご入金確認後受講票及びテキスト送付します。

■ 意見交換会： 聴講者と講師との意見交換、今後の仕事に役立つ人脈ネットワークの構築を目的としたものです。

■ 当日持参物： 筆記用具、ノート等を持参下さい。

■ 注 意 事 項： 開始10分前には、会場に集合下さい。また、万一欠席される場合は、必ずご一報いただくと共に代理の方のご派遣をお願いします。

■ 申 込 方 法： 申込書に必要事項を御記載の上FAX又はメールにて、2021年7月16日(金)迄に事務局へお申し込みください。

〒705-0021 備前市西片上1406-18 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 担当：川端
TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227 Email: erazoku@optic.or.jp

FAX 0869-63-0227 川端 宛

締切：2021年 7月16日 (金)

第2回 耐火物工学セミナー(耐火物中級講座)参加申込書

年 月 日

〒

住 所

社 名

申込者

TEL

FAX

Email

案内のあった研修会へ次のとおり参加を申し込みます。

1. 会員の確認 (該当社/者は会員価格で御参加いただけますので必ずお示ください。)

会員は○印	団 体 名
	(一財)岡山セラミックス技術振興財団
	耐火物技術協会中国四国支部 (中国四国支部のみ会員価格)
	日本セラミックス協会中国四国支部 (中国四国支部のみ会員価格)

2. テキスト

「TAIKABUTSU 中級編 耐火物熱力学を中心に～鉄冶金熱力学を含めて～」を使用します。2020年8月発刊

3. 参加費は、7月20日(火)までにお振込下さい。

振込予定日 年 月 日

※申込書受領後、請求書送付します。

※入金確認後に受講票及びテキスト送付します。

<参加する行事に○印> <購入の場合は○印>

No.	氏名	所属	講義	意見交換会 (8/3)	テキスト
1					
2					
3					
4					
5					

講義の中でお聞きになりたいこと、質問事項などを講師へ事前に伝達いたします。

質問事項

■会場案内図



ビュアリティまきび

岡山駅 [新幹線口] から徒歩約7分

■ 講 師 西日本工業大学 教授 瀬々昌文 先生

※講義の中で集中して受講いただくため休憩をとりながら行います。 また、ケーススタディは各講義の中で行います。

※各講義は、聴講者の理解が深まる或いはわからない事が少なくなるよう時間にゆとりを持った設定としています。

※2回の交流会では、瀬々先生を囲んで講義の中では聞けなかったこと、同じ時間を共有する他社の技術者との交流を目的としています。

受付開始 8/3 (火) 12:45

8月3日 (火)	
講 義 1.2	
13 : 00-13 : 05	開会
13 : 05-15 : 05	講義 1 『化学反応の自由エネルギー変化』 【概要】 化学反応の前後での自由エネルギー変化から反応が進む方向や平衡状態を知ることができます。自由エネルギーの熱力学的な意味について理解し、JANAF の熱力学データ等を利用して具体的な計算方法について学びます。
15 : 05-15 : 15	休憩
15 : 15-17 : 15	講義 2 『炭素と酸素との反応』 【概要】 炭素含有耐火物は耐熱衝撃性や耐食性に優れ広く普及しているが、高温では炭素は酸素と反応し脱炭 (酸化) されやすくなる。高温での耐火物の劣化を最小限に抑えるためには、まず炭素-酸素系の化学反応について知ることが重要です。
17 : 30-19 : 30	意見交換会

受付開始 8/4 (水) 8:45

8月4日 (水)	
講 義 3~5	
9 : 00-11 : 30	講義 3 『金属-酸化物の高温での化学反応と安定関係』 【概要】 耐火物の構成物質として最も多く使用されているのは Si, Al 等の金属の酸化物です。高温での金属酸化物の安定性や炭素共存下での耐火物内部の反応は Ellingham 図から予測することができます。主要な金属酸化物を例に Ellingham 図の作成方法や見方・利用方法を学びます。
11 : 30-12 : 30	昼食
12 : 30-15 : 00	講義 4 『金属-酸化物-炭化物-炭素系の高温での化学反応と安定関係』 【概要】 炭素含有耐火物の炭素の酸化抑制のために金属や炭化物が添加されたケースを考えます。金属-酸化物-炭化物-炭素系 (M-O-C 系) の高温での安定関係、想定される気相種の平衡分圧等を化学熱力学的に解き明かしていきます。
15 : 00-15 : 10	休憩
15 : 10-17 : 10	講義 5 『金属-酸化物-炭化物-窒化物-炭素系の高温での化学反応と安定関係』 【概要】 講義 4 で学んだ金属-酸化物-炭化物-炭素系に窒化物が加わった (M-O-C-N 系) の高温での安定関係、想定される気相種の平衡分圧等を化学熱力学的に解き明かしていきます。

受付開始 8/5 (木) 8:45

8月5日 (木)	
講 義 6~7	
9 : 00-11 : 30	講義 6 『耐火物とメタル, スラグとの反応』 【概要】 耐火物を溶鋼の保持容器や注入ノズルとして使用する場合、スラグ-メタルラインでの溶損や介在物付着が問題となることがある。溶液成分の化学的反応性を考える際に必要な「活量」について学び、さらに、耐火物溶損および介在物付着に及ぼす「濡れ」の影響について理解する。
11 : 30-12 : 30	昼食
12 : 30-15 : 00	講義 7 『鉄冶金反応プロセス』 【概要】 鉄鋼製造工程における化学反応を知することは耐火物を適切使用する上で重要である。代表的な製鋼反応のうち、1) 転炉での脱炭反応、2) 脱 P・脱 S 反応、3) 脱ガス反応、4) 脱酸と介在物生成について解説します。
15:00	閉会